

① へくのへ

# 議会だより

Vol.230

令和5年8月8日  
発行



**動物が好きだから!!**

(中学生職場体験/九戸村宮戸田牧野)

令和5年第2回定例会

もくじ ● CONTENTS

初議会 新体制がスタート ..... 2

第2回定例会/共同住宅条例などを審議 ..... 4

議員は何をしているの・市町村要望など ..... 6

村政を問う・一般質問に3人が登壇 ..... 8

小さな太陽・明日をひらく子どもたち《伊保内高校》 ..... 12

# 新体制を紹介

# 村民の声を届け 村の発展に努めます

第2回  
定例会  
令和5年

## 就任のごあいさつ



議長  
桂川 俊明

## 持続可能な村づくりを推進

議員改選後の初議会となる第2回定例会におきまして、議長に就任いたしました。誠に身の引き締まる思いであり、その職責の重大さを痛感しているところであります。

これまで培った経験を生かし、少子高齢化・人口減少など山積する村政課題に向き合い、公平で公正な議会運営に全力で取り組む所存であります。

コロナ禍や物価高騰など、厳しい地域経済の状況にありますが、村民の声をしっかりと受け止め、本村の持続可能な村づくりの実現に議員一丸となって取り組んでまいります。

村民の皆さまのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。



### 総務教育常任委員会

- ・委員長 中村 國夫
- ・副委員長 岩 淵 智幸
- ・委員 大崎 優一  
久保 えみ子  
保大木 信子  
桂川 俊明

### 産業民生常任委員会

- ・委員長 川戸 茂男
- ・副委員長 坂本 豊彦
- ・委員 渡 保男  
古館 巖  
櫻庭 豊太郎  
高崎 覺志

### 議会広報常任委員会

- ・委員長 坂本 豊彦
- ・副委員長 保大木 信子
- ・委員 渡 保男  
岩 淵 智幸  
高崎 覺志

### 議会運営委員会

- ・委員長 坂本 豊彦
- ・副委員長 岩 淵 智幸
- ・委員 渡 保男  
川戸 茂男  
中村 國夫

### 九戸村村政調査会

- ・会長 渡 保男
- ・副会長 保大木 信子

### 二戸地区広域行政事務組合議会

- ・議員 桂川 俊明
- ・議員 櫻庭 豊太郎

### 岩手県後期高齢者医療広域連合議会

- ・議員 久保 えみ子

### ●議長選挙の結果

- ・桂川 俊明 議員 7票
- ・川戸 茂男 議員 4票
- ・久保 えみ子 議員 1票

### ●副議長選挙の結果

- ・高崎 覺志 議員 7票
- ・坂本 豊彦 議員 4票
- ・久保 えみ子 議員 1票



議長選挙の開票

## 議長には桂川氏 副議長は高崎氏が当選

正副議長の選挙は7月3日、議員12人による単記無記名投票で行われました。開票作業は3人の議員の立ち会いの下で行われ、議長には桂川俊明議員が、副議長には高崎覺志議員が当選しました。

員が当選しました。続いて、議席の指定、各常任委員会や議会運営委員会の委員など、村議会の新しい体制を決めて議案の審議を行い、村の発展に向けた一歩を踏み出しました。

任期満了により執行された九戸村議会議員選挙後の初議会となる令和5年第2回定例会は、7月3日から7月14日までの12日間の会期で開かれました。この議会では、議長をはじめ副議長の選挙、各常任委員会の委員の選任などが行われ、新体制での議会活動がスタートしました。また、一般質問には3人が登壇して村政をただし、村長から提案のあった17件の議案をすべて原案のとおり可決・同意して閉会しました。

## 新体制スタート

写真左から(年齢は7月1日現在の満年齢)

- ・大崎 優一 議員 (村議5期・70歳)
- ・久保 えみ子 議員 (村議6期・65歳)
- ・渡 保男 議員 (村議5期・74歳)
- ・川戸 茂男 議員 (村議3期・72歳)
- ・中村 國夫 議員 (村議6期・75歳)
- ・桂川 俊明 議長 (村議5期・66歳)
- ・高崎 覺志 副議長 (村議5期・78歳)
- ・坂本 豊彦 議員 (村議5期・69歳)
- ・櫻庭 豊太郎 議員 (村議5期・81歳)
- ・岩 淵 智幸 議員 (村議2期・65歳)
- ・保大木 信子 議員 (村議3期・63歳)
- ・古館 巖 議員 (村議15期・93歳)

## 人事案件

### 監査委員



おおさき けんいち  
大崎 優一議員

議会選出の監査委員に、大崎優一議員(雪屋)を選任することに同意しました。議会議員の任期となります。

### 教育委員



たむら りょうこ  
田村 隆子さん

教育委員会の委員に、田村隆子さん(宇堂口)を任命することに同意しました。任期は、令和5年8月1日から4年間です。

### 教育長



たかはし よしかず  
高橋 良一さん

教育長に、高橋良一さん(盛岡市)を任命することに同意しました。任期は、令和3年7月24日から3年間です。

### ●高橋教育長を紹介●

東北大卒。平成30年4月から3年間伊保内高校校長。同校で定年退職。趣味は薪活(まきか)。62歳。

### 農業委員



農業委員会の委員の任命に同意しました。任期は、令和5年7月20日から3年間です。

前列左から城戸あき子さん(川向)、南信男さん(山屋)、千葉一孝さん(長興寺下)、関口富貴子さん(戸田上)、七戸はるみさん(細屋)。後列左から向井春夫さん(荒谷)、向平敏光さん(戸田下)、田澤太朋さん(山根)、桂川美智雄さん(瀬月内)、上柿克行さん(柿の木)〔10人〕

### 8月から現物給付へ — 高校生の医療費助成 —

医療機関の窓口で、医療費助成成分を支払う必要のない現物給付対象を現行の「中学生」から「高校生」まで拡大することを目的とした「九戸村子ども、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例」を可決しました。高校生の現物給付の開始は、8月1日からとなります。

## 単身者用の共同住宅を整備 入居は伊保内高校生優先に



### ●共同住宅を見学●

伊保内高校地域みらい留学生の(左から)湯田坂歩紀さん、平野 來将さん、弓岡 愛翔さん

### 九戸村共同住宅の概要

- ・位置 九戸村大字伊保内第23地割15番地2
- ・構造 鉄骨造2階建て
- ・戸数 7戸(1戸18.13㎡)、共用部分1(食堂)
- ・家賃 月額30,000円(高校生は、減免とし無料)

こんなことが決まりました

第2回定例会

## 共同住宅条例

伊保内川向地区に整備する九戸村共同住宅について、設置や管理などに関する事項を定める「九戸村共同住宅条例」を可決しました。

この共同住宅は、本村に居住し、または居住しようとする単身者で住宅を必要としている人の定住を促進することにより、地域の活性化を図ることを目的に整備されるものです。入居者は公募により行われますが、例外規定が設けられ、伊保内高校の生徒で遠距離等の理由で自宅からの通学が困難な人の入居が

優先されます。また、高校生には、朝夕の食事が提供されます(家賃とは別に、食事代の納付が必要)。  
※共同住宅の管理運営に関し、一般質問が行われました。11ページに掲載していますので、ご覧ください。

## 令和5年第2回定例会 議員ごとの賛否の状況

議案番号	議案名	大崎 優一	久保 えみ子	渡 保男	川 茂男	中 國夫	坂 豊彦	櫻庭 豊太郎	岩 智幸	保 大木信子	古 巖	高 覺志	桂川 俊明	採決の結果
第1号～第10号	人事 農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて ※第1号から第10号まで、1人ずつ採決を行いました。その結果、5ページ掲載の10人について、それぞれの選任を全員賛成で同意しました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
第11号	九戸村共同住宅条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
第12号	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第13号	九戸村子ども、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
第14号	予補正 令和5年度九戸村一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第15号	人事 監査委員の選任に関し同意を求めることについて	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
第16号	教育委員会教育長の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第17号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

※表の見方: 「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退場、「-」は採決に加わらなかった。

※大崎優一議員は、「議案第15号 監査委員の選任に関し同意を求めることについて」の審議が本人の一身上に関する事件であることから、除斥対象(地方自治法第117条)となり退場したものです。また、桂川俊明議長は、賛否が同数などの場合にのみ採決に加わります。

## 令和5年度一般会計補正予算(第3号)

予算総額に1億307万2,000円を追加し、51億8,288万8,000円としました。併せて、地方債の補正が行われました。

### 追加された主な予算

- ・川向地区集落センター整備関係委託料・用地購入費……………1,372万円
- ・まちの駅管理委託料……………231万円
- ・地域スポーツクラブ活動体制整備事業部活動地域移行関係謝金……………179万円
- ・物価高騰支援子育て世帯応援給付金……………900万円
- ・物価高騰支援プレミアム商品券販売事業補助金……………100万円
- ・物価高騰支援クーポン発行事業補助金……………2,782万円
- ・共同住宅光熱水費・賄材料費……………78万円
- ・五枚橋採草地更新経費……………126万円
- ・ふるさと館・湯つこ修繕料・工事請負費……………905万円
- ・各小学校修繕工事請負費……………981万円

### こんな質問 ありました

- ◎農林水産業費  
川向地区集落センター整備の概要は、  
A 平屋建て、約80坪  
程度を予定している。
- ◎商工費  
A まちの駅管理委託料増額の内容は、  
インボイス制度に対応するレジスターの更
- ◎教育費  
A 部活動の地域移行では、関係団体等との連携をどう進める。  
A 導入する国の事業と並行し、スポーツ団体等と将来の仕組みづくりを検討する組織を立ち上げる。



共同住宅です!

### 職員の新型コロナ 特殊勤務手当を廃止

「一般職の職員の特  
殊勤務手当に関する条  
例の一部を改正する条  
例」を可決しました。  
改正の内容は、村職  
員の新型コロナウイルス  
感染症対策業務に係る  
特殊勤務手当を国家公  
務員の例に準じて、廃止  
するものです。

令和5年第2回臨時会が5月17日に開かれ、村長から提出された議案を慎重に審議しました。その結果、専決処分の承認9件と補正予算3件、議決事件1件を、すべて全員賛成で原案のとおり承認・可決しました。

# 議員は何をしているの？

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。

## 4月

- 6日 北部地区町村議会議長会通常総会～7日
- 25日 村政調査会、議員全員協議会、議会広報常任委員会

## 5月

- 8日 議員全員協議会
- 17日 令和5年第2回臨時会(議案審議) 平庭地域市町村議会議員連絡協議会 役員会
- 23日 町村議会議長会全国研修会～24日
- 25日 令和5年第2回二戸地区広域行政事務組合議会臨時会
- 29日 カシオペア連邦議会議員協議会役員会
- 30日 九戸村村政調査会

## 6月

- 12日 議会広報常任委員会

## 7月

- 3日 令和5年第2回定例会(開会、議会構成)
- 5日 岩手県に対する「市町村要望」
- 7日 議会運営委員会
- 13日 令和5年第2回定例会(一般質問)
- 14日 令和5年第2回定例会(議案審議、閉会)
- 24日 九戸村村政調査会



◆議会広報常任委員会◆  
新しいメンバーとなりました

今回の「議会だより」は、改選により新しい委員となって初めての発行となりました。村民の皆さまと議会をつなぐ役割を一生懸命努めてまいります。よろしくお願いいたします。

### ●岩手県への要望事項(9項目)

- ・出産・子育て支援の強化
- ・県立伊保内高校の存続
- ・県立二戸病院九戸地域診療センターの充実強化
- ・安全安心な地域づくり
- ・国道及び主要地方道の交通安全対策
- ・若者の定住につながる魅力ある農業や雇用機会充実
- ・持続可能な森林資源保全と活用
- ・老朽化する公共施設・生活インフラ再整備の財源支援
- ・小規模自治体への総合的な支援



「九戸村の様子がよく分かった。予算や事業に生かしたい」と意見交換で話す達増知事

### 意見交換

農業受託者の高齢化が進む。受託者の育成・確保、支援体制の整備を

川戸常任委員長

伊保内高校の存続、小規模校の教職員配置に配慮を

中村常任委員長

農業が基幹産業！中山間地域の水田を活用した振興策を

桂川議長

長興寺上地区の歩道整備と一戸口交差点の改良を

高崎副議長

### 市町村要望 知事へ9項目の要望書を提出



達増知事(右)に要望書を手渡す晴山村長(中)と桂川議長

本村では7月5日、県の施策に対する要望を二戸地区合同庁舎で行いました。晴山裕康村長のほか村議会からは桂川俊明議長、高崎覺志副議長、中村國夫総務教育常任委員長、川戸茂男産業民生常任委員長が出席し、要望書を達増拓也知事に提出して意見交換を行いました。要望書に対する回答は後日、文書で行われる予定となっています。

### 議決事件

- ▽財産の取得
  - ・品名 除雪グレーダー
  - ・数量 1台
  - ・価格 299.2万円
  - ・取得方法 買入れ
  - ・取得先 コマツ岩手株式会社二戸営業所(二戸郡三戸町)

### 議長交際費を公表

月	お祝い・会費	
	件数	金額
4月	1件	5,000円
5月	3件	15,000円
6月	2件	10,000円
7月	2件	10,000円

※議長交際費とは、議長が議会の対外的活動を行うための経費です。各種団体の総会や式典の会費などが主なものです。

### 専決処分

令和4年度予算の専決  
次の令和4年度会計補正予算6件に関する専決処分の内容は、いずれも事業費確定などにより予算額の精査を行うものです。

▽令和4年度九戸村一般会計補正予算(第12号)  
予算総額から2億4,557万1,000円を減額し、57億5,938万7,000円としました。

◆質疑◆  
専決処分で2億円を超える大きな減額だ。3月の定例議会の時点で、もう少し事業費を精査できたのではないかと、事業を実施していく

▽令和4年度九戸村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
予算総額から63万9,000円を減額し、722万4,600円としました。

▽令和4年度九戸村下水道事業特別会計補正予算(第5号)  
予算総額から10万円を減額し、1億5,985万9,000円としました。

▽令和4年度九戸村国民健康保険条例の一部を改正する条例  
地方税法等の改正に伴い、森林環境税や電動キックボードに関する事項など、所要の整備を行うものです。

過程において状況等の変化があり、令和4年度は、このような結果となった。

▽令和4年度九戸村民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
予算総額から2億4,300万9,000円を減額し、6億4,853万1,000円としました。

▽令和4年度江刺家財産区特別会計補正予算(第2号)  
予算総額から56万9,000円を減額し、523万1,000円としました。

5億2,000円を減額し、3,079万5,000円としました。

### 補正予算

▽令和5年度九戸村一般会計補正予算(第2号)  
予算総額に1億69万9,000円を追加し、50億7,981万6,000円としました。

内容は、人事異動による人件費の減額とそれに伴う下水道事業特別会計への繰入金685万3,000円、社会福祉施設等の修繕料128万7,000円などの増額です。

▽令和5年度九戸村下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
予算総額に685万3,000円を追加し、1億6,022万4,000円としました。

50億7,811万7,000円としました。

内容は、住民税非課税世帯臨時特別給付金255.0万円、子育て世帯生活支援特別給付金400万円などの増額です。

内容は、職員増員に伴う人件費の増額です。

▽令和5年度九戸村水道事業会計補正予算(第1号)  
収益的収入及び支出に26万円を追加し、総額を1億4,035万7,000円としました。内容は、人事異動に伴う人件費や研修旅費などを増額するものです。また、流量計等の更新を行うために、資本的支出を664万4,000円増額しました。



坂本 豊彦 議員

# 教育長が不在となった 今後どう対応していくのか

## 村長 ▶ 最優先の事項であり 本定例会中に追加提案したい

問 教育長が当面、空席となる見通しである  
と、新聞報道があった。  
今後、どのような対応を  
考えているのか。

村長 最優先事項として、  
人選に鋭意取り組んできた。  
その結果、本人の承諾が得られた  
ところであり、本定例会  
中に追加提案したい。

### 小学校統合の 具体的な日程は

問 村内の小学校を統合・  
新設する条例案が可決され、  
今年4月から、  
学校名や運営など令和7年4月の開校  
に向けて協議を進める  
とのことであった。  
その協議状況について、  
スケジュールなどを含め  
て具体的に示せ。

村長 今後の進め方は総合教育会議で、「村民の  
声にしっかりと耳を傾ける」  
詳細は、教育委員会に  
ゆだねる」と確認している。



村の未来を担う子どもたち=寺子屋九曜塾

「教育委員会にゆだねる」  
ことに関しては、「教育委員会が  
所管する教育事務については、  
首長の指揮命令は及ばず、  
首長は教育委員の任命や  
予算編成などを通じて  
間接的に責任を負っている。  
(文部科学省の見解)」という、  
首長と教育委員会の関係  
性によるものであり、  
実務的に細かな部分は、  
教育委員会からの  
答弁とさせていただきます。

### 教育次長 協議状況と

としては、6月に「  
小学校統合準備委員会設置要綱」  
を定め、各校に委員の人選等  
を依頼しているところだ。  
この準備委員会に  
六つの専門部会を設け、  
実務的な協議



松澤浩二さん(右)の営農相談を受ける高橋好範農政技術主幹(職員相互交流により県から派遣)

## 農業をどう振興するのか

問 村重要品目に指定している  
トマト、ピーマン、  
ニンジン、ネギの振興策を  
示せ。  
生産費の高騰が続いている。  
村野菜価格安定補償制度  
について、  
生産費を考慮した運用が  
できないか。

村長 村では本年度、  
これまでの2名に加え、  
農業改良普及員を  
2名追加している。

格のある県職員1名を  
配置することにより、  
庭先営農指導を強化し、  
農業者の技術と所得の  
向上を図っている。本村  
の価格安定補償制度は、  
生産費を考慮し、さら  
に労賃を加えた内容を  
補償基準として、今  
後も生産者の声を聞き  
ながら、農業振興に取  
り組んでいきたい。

を行う場としたい。  
第1回目の準備委員  
会を8月の早い時期  
までに開き、方針など  
を確認して各部会の協  
議

に入りたい。準備委員  
会の最終合合は、令和  
6年の8月から9月に  
行う予定としている。  
また、閉校に向けた

問 農地の荒廃が見られる。  
本村の遊休農地の  
実態はどのようにな  
っているか。  
解消策をどう考  
えているのか。

村長 本村の令和4年  
度における遊休農地  
は、187ヘクタールと  
なっている。国の政策  
が進められ、村でも  
補助事業を設けている  
が、遊休農地面積は  
横ばいで推移してい  
る。

遊休農地解消に関し  
ては、地域農業の  
将来のあり方を示した  
「人・農地プラン」が  
法律に基づく制度と  
なり、名称を「地域計  
画」と取り組むこと  
となった。本村には、  
意欲ある新規就農者  
や若手農業者が増えて  
おり、「地域計画」に  
よる遊休農地を集約  
し、解消につなげたい。

# ～村政を問う～ 一般質問に3人が登壇

令和5年第2回定例会での一般質問は7月13日に行われ、3人の議員が一般質問に登壇し、活発な議論が展開されました。掲載している内容は、紙面の都合で要約しています。  
※全文記録(議事録)は、村ホームページでご覧いただけます。

質問議員(質問順)	質問事項	掲載ページ
坂本 豊彦 議員	○教育環境整備について ○厳しい農業情勢下における九戸村農業の振興策について ○経営所得安定対策における畑地化促進助成の取組について ○オドデ館における農産物直売の推進策について	9
久保えみ子 議員	○コロナ禍、物価高騰の中での村民の暮らしへの影響について ○国民健康保険税の引き下げについて ○子育て支援をさらに進めることについて	10
川戸 茂男 議員	○持続可能で良質な教育環境の整備について ○九戸村共同住宅の管理運営について	11

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。  
九戸村議会では、一人60分以内の制限時間で質問を行います。  
※一般質問は、アクリルパーテーションを設置した上で、マスクをはずして行っています。



議会を傍聴してみませんか  
本村の村議会定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。  
皆さんの代表が、議会でどんな発言をしているのか。村がどのような施策を行おうとしているのか。一度、議会を傍聴してみたいかがでしょうか。



職場体験で議場を見学する小笠原葵さん(九戸中2年)



久保 えみ子 議員

# 物価高騰で暮らしが大変だが 村長の見解はどうか

## 村長▶経済状況等を見極めながら 適時適切な政策を進める

問 コロナ禍、物価高騰が続く中で、日本共産党九戸村委員会が行った村民アンケート調査や令和4年度の所得状況からは、村民の生活が苦しい状況がうかがわれる。同調査で、村政に最も力を入れてほしいことは、「物価高騰対策」であった。こうした中で村民の暮らしは、過去最大級の値上げラッシュにより、ますます大変となっている。村長は、どう受け止めているのか。

村長 村では、ご指摘の状況を踏まえ、住民税非課税世帯臨時特別給付金と子育て世帯生活支援特別給付金の給付を開始している。加えて本定例会に、村民1人当たり5000円のクーポン券発行事業、プレミアム率20%の商品券販売事業を支援する予算案を提出している。今後も、村民の暮らしを守ることを最優先に国県の動向なども注

視しつつ、経済状況を見極めて適時適切に対応していきたい。

### 村独自の支援を 高等教育にも 高専教育にも

問 前述のアンケート調査の結果では、村民は大学や専門学校など

## 国保税 子ども均等割の 減免割合拡充を

高等教育の授業料補助や返済不要の奨学金制度などを望んでいる。これらの政策は、国が行うべきものだが、取り組まれている中では、村独自の支援策として検討すべきではないか。施策実施は新たな移住対策、そして子育て支援をさらに進めるよう、検討を進めるべきではないか。

村長 国保制度は、国民皆保険制度の基盤であり、法令に基づいて自分の負担をお願いしているものだ。村の国保会計は、その赤字を補てんするため、に多額の法定外繰入を行っており、財政的に大変厳しい状況である。仮に、子どもの均等割を廃止し、歳入の不足を法定外繰入で賄った

その半額を免除できるような制度を拡充し、貸付基金を増資している。村民の要望は、すべて対応したいが、財源が必要であり優先順位が出てくる。提言事項は、さまざまな角度から検討を進め、教育費に関しては国に対し、強く要望していきたい。



子どもの健やかな成長は村民みんなの願い  
=3歳児健診

これらの理由から、国保の被保険者を含めた村民全体の利益を守らなければならない立場としては、不利益を被る恐れのある政策は避けなければならず、子どもの均等割を廃止する考えには至っていない。今後については、状況を見極めながら慎重に検討していく。

としていますが、どのように考えているのか。

村長 事業を着実に進める地盤・土台となるのが村民の合意である。そのようなことから、教育委員会に対し、「村民の声に耳を傾けて合意を得て進めてください」と、総合教育会議の席上で強く念を押し、確認しているところだ。

以上のようなことから、以後は、「教育に関する事務を委ねている」教育委員会からの答弁とさせていただく。

教育次長 工程表の計画に関しては、最速でという意味合いもあるが、本年度からという部分では、進展していない。

選定委員会は、「村民の合意」という観点から説明を尽くし、小中一貫校か、義務教育学校かの方向性がある程度固まった段階で立ち上げた。委員の人は、白紙の状況であり、さまざまな角度から検討したい。

## 関心どう高める

問 学校再編の協議を始めてから九戸学園の開校予定まで、13年を要する。長い年月であり、あきらめの声も聞かれている。小学校

統合後の再編に対し、もっと関心を持ってもらうことが必要だが、そのための周知方法はどう考えているのか。

教育次長 説明会のほか、ホームページ、広報紙などの媒体を最大限に活用したい。また、小学校統合に関しては、「準備委員会だより」を随時発行する計画であり、令和11年の再編に向けても広報紙だけではなく、その事項に特化したチラシ等の発行を考えている。

## 共同住宅の入居基準は

問 九戸村共同住宅(共同住宅)の条例案では、「単身者で住宅に困窮している者の定住を促進」と規定しているが、入居基準をどのように考えているのか。

また、高校生の入居を想定しているようだが、一般単身者の扱いはどうなるのか。

村長 入居者は公募とするが、例外規定を設ける。伊保内高校生を優先させ、一般単身者は、1年更新で入居募集する考えだ。共同住宅の居室は7室あるが、1室を管



8月からの入居となる共同住宅

理人用とする。本年度は、3室を伊保内高校の県外在校生3人に提供し、残る3室を一般単身者用として募集する。年齢制限のない単身者であること以外は、村営若者定住促進住宅に準じた基準とする。また、高校生に安全安心な居住空間と食

問 建物の維持費用、調理員や管理人の配置など、相当な経費が見込まれる。今後のランニングコストをどう見込んでいるのか。

村長 村の負担は、共用部分となる食堂の経費となる。光熱水費と調理員の人件費で、年間約117万5000円を見込んでいる。居室の光熱水費と食事の賄材料費は、入居者負担とし、管理人は、人件費の掛からない方を選任したい。

# 九戸学園(仮称)開校に向けた 用地選定委員会の取組状況を示せ

## 村長▶村民の声に耳を傾けて 方向性の合意を得ながら進めたい



川戸 茂男 議員



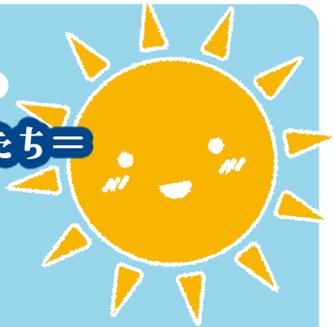
中学校を含めた再編・開校は令和11年4月を予定

問 持続可能で良質な教育環境の整備に関する指針(指針)では、小学校統合後に、仮称九戸学園として、小中一貫校または義務教育学校に再編・開校する計画としている。

再編・開校に当たっては、保護者・村民を対象とした説明会等の開催や設置場所等を協議する用地選定委員会(選定委員会)を組織し、決定するとしている。その進捗よく状況とスケジュールは、どうなっているのか。

また、選定委員会の構成は、将来の村づくりの観点から決定する

# 小さな太陽 =明日をひらく子どもたち=



キラキラ輝く瞳。大きな夢なら負けません。

このコーナーでは、そんな太陽のような目をした子どもたちに登場してもらいます。



## スポーツで 活性化

伊保内高校 3年  
めぐる もとき  
目黒 基輝さん

私は九戸村を良い方向へと導くならば、BMX(自転車競技の一種)の施設を開設したほうがいいと思います。BMXができる場所は現在岩手県内に2カ所(盛岡市・大船渡市)あり、県央・沿岸地域に所在しています。県北地域では、村内にあるコロポックルランドでBMXをすることができましたが、施設の老朽化で現在はできない状況にあります。そのため県北在住の人は、この競技に触れづらい環

境にあります。県北地域に新たに設けることで、岩手県全体がこの競技に触れやすくなると考えました。九戸村には、B&Gというプール施設があります。夏に一般開放や村の水泳大会で使われているだけの現状です。近隣地域の二戸市にスイミングスクールがあり、九戸村民も通っています。近隣地域に大きい施設があると、人は大きい方に流れてしまうと考えました。このような事態を防ぐ

ためにも、近隣にあまり所在していない施設をつくるべきだと考えました。BMXは、オリンピック競技にも指定されており、世界中からの注目も高い競技です。また、岩手県は、プロ選手を多く輩出している県でもあります。岩手県のスポーツの未来を明るくしていくために、まず競技に触れやすい環境を整え、九戸村のスポーツの活性化につなげていきたいと考えました。



## まず知って もらうために

伊保内高校 2年  
みやかわ ちゆら  
宮川 知優良さん

私が住んでいる九戸村は、人口五千人ほどの小さな村です。しかし、小さいことを感じさせない魅力がたくさんあります。私が特に魅力を感じるのは、出産費用助成や祝金、子ども手当、医療費・保育料の無料化、予防接種の助成などの子育て支援です。このほかにも、書ききれないほどたくさんある制度があり、このような地域住民の生活に非常に密着した支援制度があるところが、自慢

できることです。しかし、人口は減り続けています。他の自治体を調べていく中で、子育て支援に注力し、十年連続人口増のある市があることを知りました。九戸村にも、その市に負けず劣らずの魅力があるのに、その違いを考えたときに、知名度の部分だと思えました。まず知ってもらうことが重要です。その差をカバーするためには、九戸村についてより多くの人に知ってもらえるような取り組みを

しなければいけません。例えば、SNSを使って大々的にイベントの告知をしたり、支援制度について説明したりすることで九戸村の魅力により多くの人へ、より詳細に伝えることができると思います。私も、「むらおこし会社」の一員として、九戸村の魅力をたくさん伝えられるように、どのような方法で、どの年代に向けて発信するかを考え活動していきたいです。

## あとがき

▼このたびの改選で議会広報常任委員となり、「議会だより」の発行に携わることになりました。よろしくお願ひします。

▼議会活動では、農業の振興、教育の充実、女性の活躍推進、福祉の充実等施策の実現を目指して、地域の声を行政に届け、安全安心な村づくりに努力します。

▼議会人として自覚と責任を持って、「誰もが住みたい、住み続けたい九戸村」を目指して汗をかいてまいります。

議会広報常任委員 高崎 覺志

### ◆発行責任者

議長 桂川 俊明

### ◆議会広報常任委員会

- 委員長 坂本 豊彦
- 副委員長 保本 信彦
- 委員 保本 信彦
- 委員 岩淵 保男
- 委員 高崎 覺志



九戸中学校生徒の職場体験が7月に行われました。表紙の写真は、2年生の小野寺夕音さんです。

vol.230

令和5年8月8日発行

発行／九戸村議会

編集／議会広報常任委員会

〒028-6502 岩手県九戸郡九戸村大字伊保内2-1-6

電話：0195(42)2111(代) FAX：0195(41)1005

E-mail: gikai@vil.kunohc.iwate.jp